



平成27年2月24日

各 位

会 社 名 鈴与シンワート株式会社
代表者名 取締役社長 池田 裕一
(コード番号 9360 東証第二部)
問合せ先 常務取締役 佐津川 吉秀
(TEL 03-5440-2800)

固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産を取得することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 取得の理由

市場の環境変化が目まぐるしいデータセンター業界において、販売戦略や投資などの意思決定を柔軟且つ素早く遂行し、更なる事業拡大と収益基盤の安定化を図るため、これまで賃貸借契約に基づいて使用していたデータセンター設備一式を取得します。

2. 取得資産の内容

資産の名称及び所在地	取得価額	現況
S-Port 東京第一センターにおけるデータセンター設備 (東京都大田区) 内訳：建物（個室・床上げ工事）、建物付属設備（エアコン・高圧受変電設備・火災報知設備・避雷針設備・給排水衛生設備・乗用エレベーター）、構築物（地下タンク設備、舗装工事）、器具備品（電話交換機、電算用予備発電設備、空調機）	1,179 百万円	設備賃借中

※現金による決済を予定。

3. 取得先の概要

(1) 名称	鈴与株式会社
(2) 所在地	静岡県静岡市清水区入船町11番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 鈴木與平
(4) 事業内容	総合物流業
(5) 資本金	1,000 百万円
(6) 設立年月日	昭和11年3月31日

(7) 純資産	26,577 百万円 (平成26年8月31日現在)																
(8) 総資産	173,141 百万円 (平成26年8月31日現在)																
(9) 大株主及び持株比率	柏興業(株)20.51%、中日本パソリス(株)18.61%、(株)富士ロジテック 15.56% 鈴与興産(株)9.06%、清水ポートサービス(株)4.75% (平成26年8月31日現在)																
(10) 上場会社と 当該会社の関係	資本関係	議決権所有割合 41.84% (全て間接所有、平成26年9月30日現在)															
	人的関係	当社取締役7名のうち4名は以下のとおりです。 (平成26年8月31日現在)															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>鈴与シンワート(株)</th> <th>氏名</th> <th>鈴与(株)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>池田 裕一</td> <td>参与</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>佐津川吉秀</td> <td>理事</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>高山 秀一</td> <td>理事</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>佐藤 滋美</td> <td>参与</td> </tr> </tbody> </table>	鈴与シンワート(株)	氏名	鈴与(株)	代表取締役社長	池田 裕一	参与	常務取締役	佐津川吉秀	理事	取締役	高山 秀一	理事	取締役	佐藤 滋美	参与
		鈴与シンワート(株)	氏名	鈴与(株)													
		代表取締役社長	池田 裕一	参与													
常務取締役	佐津川吉秀	理事															
取締役	高山 秀一	理事															
取締役	佐藤 滋美	参与															
取引関係	当社は当該会社より設備を賃借しています。 (月額34百万円) ※なお、当該固定資産取得後も建物部分の賃借 (月額15百万円程度を予定)は継続します。																
関連当事者への 該当状況	当社の親会社であり関連当事者に該当します。																

4. 取得の日程

(1) 取締役会決議日	平成27年2月24日
(2) 契約締結日	平成27年2月26日
(3) 物件引渡期日	平成27年2月26日

5. 今後の見通し

当該固定資産の取得による平成27年3月期の業績予想に与える影響は軽微であります。

6. 支配株主との取引等に関する事項

(1) 支配株主との取引等の該当性及び少数株主の保護の方策に関する指針への適合状況

本取引は、支配株主との取引等に該当します。当社が、平成27年2月24日に開示したコーポレートガバナンス報告書で示している「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に定めるとおり、上場企業として一定の独立性を確保し、支配株主との取引等においても、一般取引と同様に、取引内容及び条件等を公正かつ適切なものとするにしています。

本取引についても、取締役会において、少数株主の利益を不当に害することのないよう公正かつ適切であることを確認のうえ、この指針に則って決議しております。

(2) 公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に関する事項

本取引での固定資産の取得価格は、取引相手先である鈴与株式会社（支配株主）において、通常の減価償却方法に基づいて償却した当該固定資産の取引時の残存簿価であり、同社には、

売却損益が発生しない取引となっております。よって本取引の公正性は担保できており、少数株主に不利益はないものと判断します。

また、本取引の利益相反性については、3名の当社社外監査役にも判断を仰いでおりますが、当該固定資産の売買の性質が、取引当事者双方にとって売買損益を発生させず、固定資産の単純な所有者移動であることから、本取引の内容は利益相反に該当しないというのが社外監査役の総意となっております。

(3) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものではないことに関する、支配株主と利害関係のない者から入手した意見の概要

当該取引については、支配株主と利害関係のない独立役員である当社社外監査役 稲村嘉彦氏から、本日、「固定資産取得の目的、取得価額の公正性などの観点から総合的に判断し、本取引は少数株主にとって不利益なものではない。」との意見を受けております。

(参考) 当期連結業績予想（平成27年1月30日公表分）及び前期連結業績

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成27年3月期)	11,675	197	190	96
前期連結実績 (平成26年3月期)	11,776	369	352	179

以上